

日・WHO フォーラム (WHO-Japan Forum) 2018

開催概要

開催趣旨：

世界保健機関(WHO)は、本年6月に、国際疾病分類の第11回改訂版(ICD-11)を公表しました。現行のICD-10への改訂(1990年)以来、約30年ぶりの改訂となります。この公表を受け、加盟国は、分類の翻訳など自国での適用へ向けた準備を開始することが期待されており、2019年5月には世界保健総会へ提出される予定です。今後、我が国は適用に向けた検討を進めることとなります。

ICD-11の開発には多くの日本の医学専門家・団体が関わり、日本病院会は、長年財政的支援等で貢献いただきました。また、特に内科分野の検討会議には、日本内科学会をはじめとして日本血液学会、日本内分泌学会、日本糖尿病学会、日本消化器病学会、日本循環器学会、日本呼吸器学会、日本腎臓学会、日本リウマチ学会、日本小児科学会等幅広く御協力をいただきました。

今回公表されたICD-11には、生活機能評価に関する補助セクションが新設され、これは、2001年5月にWHO総会で採択されたICF(国際生活機能分類)を基にしており、さらなる活用が期待されています。

こうした中、これまでの経緯をまとめ関係者への感謝を表すとともに、WHOの担当者に開発の意義や期待される目標、活用される事例等を講演していただき、未来像を共有することにより、国際統計分類の一層の活用を促進するため本フォーラムを開催いたします。

名 称： 日・WHO フォーラム（WHO-Japan Forum）2018
～ICD-11・ICF 大活用時代の扉を開く～

テーマ： ICD-11 公表記念、改訂の集大成と今後の展望
ICF と一体の導入・普及加速

日 時： 2018 年 11 月 30 日（金）
第一部 10：00～13：00
ICD-11 公表記念シンポジウム
第二部 14：30～16：30
WHO 公開講座「WHO 担当官による ICF 講座」

会 場： UN ハウス（国連大学）3 階ウ・タント国際会議場
（住所：東京都渋谷区神宮前 5-53-70）

主 催： 厚生労働省、世界保健機関（WHO）【予定】

共 催： 一般社団法人 日本内科学会

後 援： 一般社団法人 日本介護支援専門員協会、一般社団法人 日本血液学会、
一般社団法人 日本言語聴覚士協会、一般社団法人 日本呼吸器学会、
一般社団法人 日本作業療法士協会、一般社団法人 日本在宅医学会、
一般社団法人 日本在宅ケア学会、一般社団法人 日本循環器学会
一般財団法人 日本消化器病学会、一般社団法人 日本腎臓学会、
一般社団法人 日本精神科看護協会、
一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟、
一般社団法人 日本糖尿病学会、一般社団法人 日本内分泌学会、
一般社団法人 日本病院会日本診療情報管理学会、
一般社団法人 日本リウマチ学会、一般社団法人 日本老年医学会、
公益財団法人 テクノエイド協会、
公益社団法人 全国老人保健施設協会、公益社団法人 日本医師会、
公益社団法人 日本医療社会福祉協会、公益社団法人 日本介護福祉士会、
公益社団法人 日本看護協会、公益社団法人 日本社会福祉士会、
公益社団法人 日本小児科学会、
公益社団法人 日本障害者リハビリテーション協会、
公益社団法人 日本精神保健福祉士協会、公益社団法人 日本理学療法士協会、
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会、
ソーシャルケアサービス従事者研究協議会、
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会、
特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会、
日本医学会、日本脊髄障害医学会、日本保健医療福祉連携教育学会

（五十音順）

協 賛： 一般財団法人 厚生労働統計協会

定 員： 300 名

参加費： 無料

言 語： 日英同時通訳付

企画・運営事務局：オスカー・ジャパン株式会社

プログラム

第一部

ICD-11 公表記念シンポジウム

モデレーター：奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授 今村 知明
(平成 30 年度厚生労働科学研究 ICD-11 国内適用検討会議長)
厚生労働省政策統括官付参事官付国際分類情報管理室長 森 桂

- 10:00-10:30 **開会挨拶**
・厚生労働省政策統括官(統計・情報政策、政策評価担当) 大西 康之
・WHO ICD 改訂主任担当官 ロバート・ヤコブ
スペシャルメッセージ～ICD-11 公表を祝し今後の発展に向けて～
・日本病院会 会長 相澤 孝夫
・日本医学会 会長 門田 守人
・日本内科学会理事長 矢富 裕
- 10:30-10:50 **ICD-11 改訂における内科 TAG の果たした役割**
国際医療福祉大学大学院院長 三浦 総一郎
- 10:50-11:05 休憩
- 11:05-11:45 **ICD-11、改訂プロセスとそのエッセンス** ロバート・ヤコブ
- 11:45-12:05 **ICD-11 V チャプター ～国際生活機能分類とのリンクが拓く地平～**
WHO 非感染性疾患、障害、暴力及び傷害予防部
BDD(視覚・聴覚障害予防・障害及びリハビリテーション)コーディネーター
アラルコス・シエザ
モデレーター
- 12:05-12:25 **ICD-11 国内適用の展望**
- 12:25-12:55 **質疑応答**
- 12:55-13:00 **閉会挨拶** 今村 知明
- 13:00-14:15 ネットワーキング・ランチブフェ(参加自由。事前登録制)

第二部

WHO 公開講座 「WHO 担当官による ICF 講座」

モデレーター：ロバート・ヤコブ、アラルコス・シエザ

- 14:30-15:20 **ICF 講座** アラルコス・シエザ
ICF 誕生の歴史的背景
Well-being に資する共通言語としての活用の展望
- 15:20-15:50 **ICD と ICF の一体としての統計への導入の可能性**
藤田保健衛生大学医学部
リハビリテーション医学 I 講座講師 向野 雅彦
国立保健医療科学院主任研究官 大冢賀 政昭
- 15:50-16:20 **Q&A セッション (フロアと WHO)**
- 16:20-16:30 **閉会挨拶**
厚生労働省参事官(企画調整担当) 中井 雅之

※プログラムは仮のため、変更となる可能性がありますことをご了承ください。

- 18:00-20:00 **日本 WHO-FIC 協力センター懇親夕食会 (関係者。事前登録制)**
明治記念館 若竹の間